

第139期 株主通信

2016年4月1日 ~ 2016年9月30日

中間

社長インタビュー

「確かなグローバル・スペシャリティ・カンパニー」を目指して …P1

特集

うま味は世界へ

第8回 世界の商品紹介 ～メニュー用調味料～ ……P9



Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®

味の素株式会社

証券コード：2802



株主の皆様には、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

代表取締役
取締役社長
最高経営責任者

西井孝明

「確かなグローバル」

Q 今期は、2014-2016中期経営計画の最終年度ですが、「グローバル成長」はどのような状況でしょうか？

西井 海外食品事業を中心に為替の影響はありましたが、現地通貨ベースでは着実に成長しています。海外コア展開国として位置づけている「Five Stars^{ファイブスターズ}」(タイ・インドネシア・ベトナム・フィリピン・ブラジル)では、「グローバル成長」に向けた施策を積極的に打ちました。例えば、タイでは、約24億円を投じて、風味調味料「RosDee^{ロッディー}®」の生産能力を約40%増強します。タイの風味調味料の市場は、約7万トン(2015年度当社推定)の規模があります。中間所得層の拡大を背景とした、家庭での世帯あたりの使用量増加や、屋台を中心とした外食市場での使用機会の拡大により、今後も一層の市場拡大が見込まれます。2011年度以降、「RosDee^{ロッディー}®」の販売量は年平均5%以上伸長しており、タイ国内でトップシェアを維持していますが、更なる拡大を図ります。その他にも、インドネシアではメニュー用調味料「Sajiku^{サジク}®」(P.9～P.10「特集」ご参照)、ベトナムではうま味調味料「味の素®」についても増産投資を行います。

「スペシャリティ・カンパニー」を目指して

Q ^{ファイブ スターズ} 「Five Stars」以外の状況は
いかがでしょうか？

西井 米国の冷凍食品製造・販売会社である味の素ウインザー社では、味の素グループの生産・開発技術を導入することにより、製品の品質向上とともに収益構造を強化しつつあります。また、既存の顧客基盤を活かして、麺、米飯、餃子といった日本食の販売を拡大しています。具体的には、近年外食市場でブームが起きている「日式ラーメン」の販売を開始し、米飯生産ラインの新設による生産能力の増強と東西二拠点化による北米全土への効率的な供給体制を構築しています。

また、この11月に、アフリカ36カ国で事業展開する大手加工食品メーカー、プロマシドール・ホールディングス社に出資することの合意に達しました。継続的な成長が期待されているアフリカにおいて、プロマシドール社の強固な販売基盤と当社の幅広い製品開発力・生産技術力を組み合わせることにより、調味料・加工食品事業でのリーディングプレイヤーの地位をプロマシドール社と共に確立し、現地の豊かな食生活に貢献することを目指します。

このように、これからも ^{ファイブ スターズ} 「Five Stars」以外にも、積極的な事業展開を行うことで成長を加速させ、バランスのとれた強固な事業構造を築いていきます。

タイ



ロッドディー
「RosDee®」

ベトナム



味の素®

インドネシア



サジク
「Sajiku®」

アメリカ



ベジタブルヤキソバ
「VEGETABLE YAKISOBA」

Q 最後に株主還元についてはいかがでしょうか？

西井 2016年度の中間配当金につきましては、前年同期比2円増配の1株当たり15円とさせていただきます。また、単元の見直しに合わせて株主優待制度を変更（裏表紙ご参照）しました。

今後も、株主様向け工場見学会を開催する等、株主様とのコミュニケーションの機会も増やしてまいりますので、株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



株主様向け工場見学会のご報告

2016年10月5日(水)に「味の素株式会社川崎工場」にて株主様向け工場見学会を開催しました。多数のご応募の中から、厳正な抽選により40名の株主様および同伴者様が当選され、ご出席いただきました。



△「ほんだし」工場の見学
かつお節削りの体験もできます。

▽会社説明



▽懇談会

当社製品を使用した特製弁当を召し上がっていただきました。



△「味の素グループうま味体験館」の見学

ご出席いただいた株主様の声

創業から現在に至るまでの歴史を知ることができ、一層理解が深まりました。

少人数のグループで話が聞きやすかったので良かったです。

スタッフの対応が親切で好感が持てました。

「味の素[®]」は、さとうきび等の天然物を原料とし、発酵生産しているものだとわかり、安心して使えると思いました。

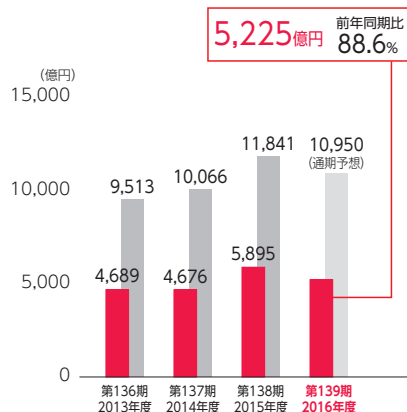
■ 主要連結財務データ

	第136期 2013年度	第137期 2014年度	第138期 2015年度	第139期(当期)2Q 2016年度 第2四半期連結累計期間
売上高	9,513 億円	10,066 億円	11,841 億円	5,225 億円
営業利益	618 億円	745 億円	908 億円	391 億円
経常利益	688 億円	828 億円	941 億円	424 億円
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	421 億円	464 億円	634 億円	250 億円
1株当たり四半期(当期)純利益	68.67 円	78.54 円	107.86 円	43.61 円
総資産	10,931 億円	12,550 億円	12,621 億円	11,531 億円
純資産	6,555 億円	7,434 億円	6,919 億円	6,248 億円
1株当たり純資産	1,002.29 円	1,131.41 円	1,066.84 円	987.32 円
年間配当・中間配当	20 円	24 円	28 円	15 円

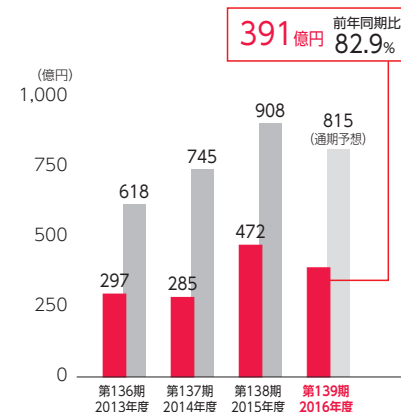
■ 連結財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期

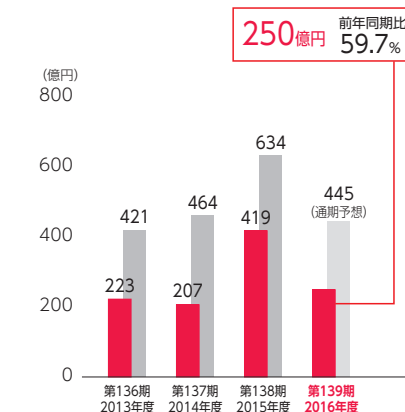
● 売上高



● 営業利益



● 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



*第138期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第138期第2四半期の数値は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

*会計方針の変更に伴う遡及適用影響額を、第138期の数値に反映して表示しております。

*第138期より、会計基準等の改正に伴い、従来の「四半期(当期)純利益」が「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」となりました。

*予想数値は、11月8日決算発表時で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、事業環境の変動等により、予想と異なることがあります。

日本食品

売上高

1,889 億円

(21億円 減)
(前年同期比 98.9%)



営業利益

152 億円

(33億円 増)
(前年同期比 128.6%)



調味料・加工食品は、家庭用商品や業務用の機能型食品等は伸長しましたが、子会社売却等の影響により、減収となりました。冷凍食品は、「ギョーザ」や「ザ・チャーハン」の伸長により増収となり、コーヒー類は減収となりました。

冷凍食品の増収等により、大幅な増益となりました。



海外食品

売上高

2,027 億円

(316億円 減)
(前年同期比 86.5%)



営業利益

192 億円

(39億円 減)
(前年同期比 83.2%)



調味料・加工食品は、アジアにおけるうま味調味料「味の素®」や風味調味料の現地通貨ベースでの売上げが前年同期を上回りましたが、為替の影響により、減収となりました。冷凍食品は、為替の影響もあり、減収となりました。加工用うま味調味料・甘味料は、核酸は海外の販売数量の増加により前年同期並みの実績となりましたが、食品加工業向け「味の素®」や加工用アスパルテームの販売数量の減少と為替の影響により、大幅な減収となりました。

為替の影響等により、大幅な減益となりました。



ライフサポート

売上高

599 億円

(145億円 減)
(前年同期比 80.4%)



営業利益

16 億円

(66億円 減)
(前年同期比 20.1%)



動物栄養は、リジン、スレオニン、トリプトファンの販売価格が前年同期を下回り、大幅な減収となりました。化粧品は、香粧品素材が為替の影響で減収となりましたが、半導体パッケージ用層間絶縁材料が増収となりました。

動物栄養の大幅な減収等により、大幅な減益となりました。



ヘルスケア

売上高

421 億円

(25億円 減)
(前年同期比 94.2%)



営業利益

33 億円

(1億円 増)
(前年同期比 105.1%)



医薬用・食品用アミノ酸は、国内は大幅な増収となりましたが、為替の影響もあり、海外が減収となりました。製薬カスタムサービスは、為替の影響により、大幅な減収となりました。

製薬カスタムサービスの採算の改善等により、増益となりました。



その他

売上高

288 億円

(160億円 減)
(前年同期比 64.2%)



営業利益

△ **4** 億円

(10億円 減)
(前年同期比 -)



(注) △印は、マイナスを示しています。

医薬事業の再編により、EAファーマ株式会社(旧、味の素製薬株式会社)が当社の連結子会社から持分法適用会社となった影響等により、大幅な減収となりました。

上記の影響等により減益となりました。

*報告セグメントの変更のお知らせ

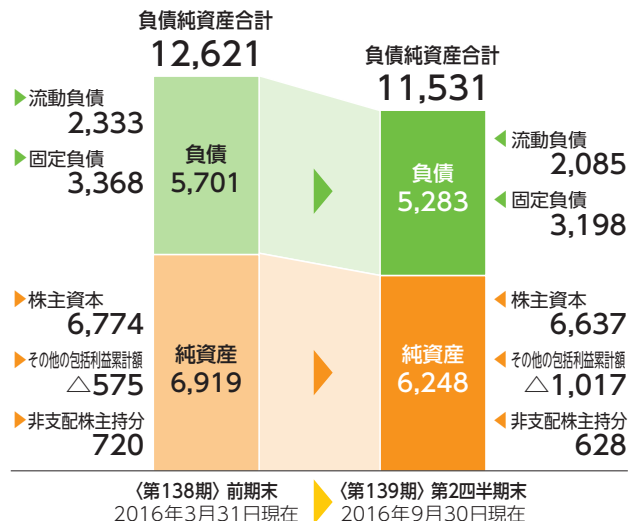
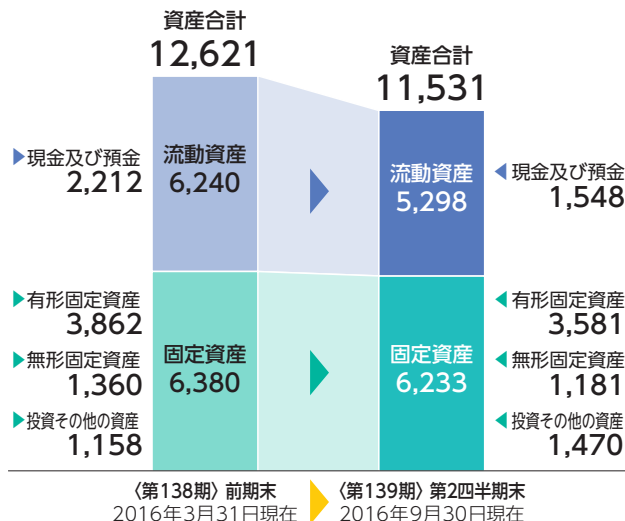
当期より、前期に「ヘルスケア」セグメントに含めていた医薬事業とニュートリションケア事業を各々「その他」と「日本食品」セグメントに含めております。

連結決算概要

■ 連結貸借対照表の概要

(単位：億円)

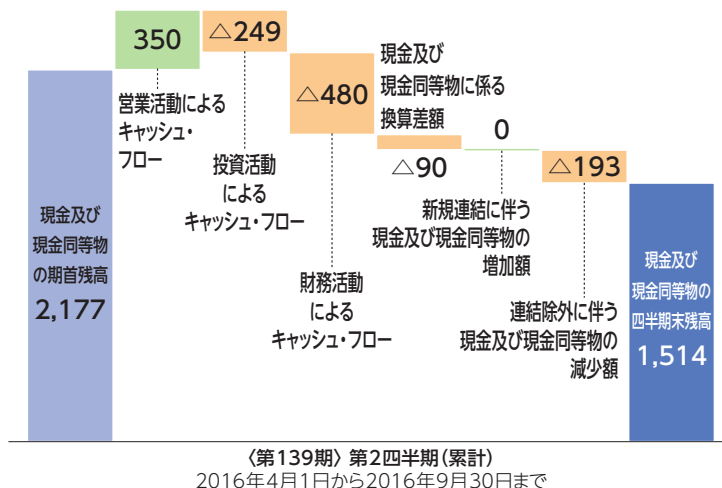
(注)△印は、マイナスを示しています。



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：億円)

(注)△印は、マイナスを示しています。



● 営業活動によるキャッシュ・フロー

350億円の収入(前年同期は604億円の収入)となりました。税金等調整前四半期純利益が413億円、減価償却費が225億円であった一方、法人税等の支払額が157億円であったこと、たな卸資産等の運転資本が支出であったこと等によるものです。

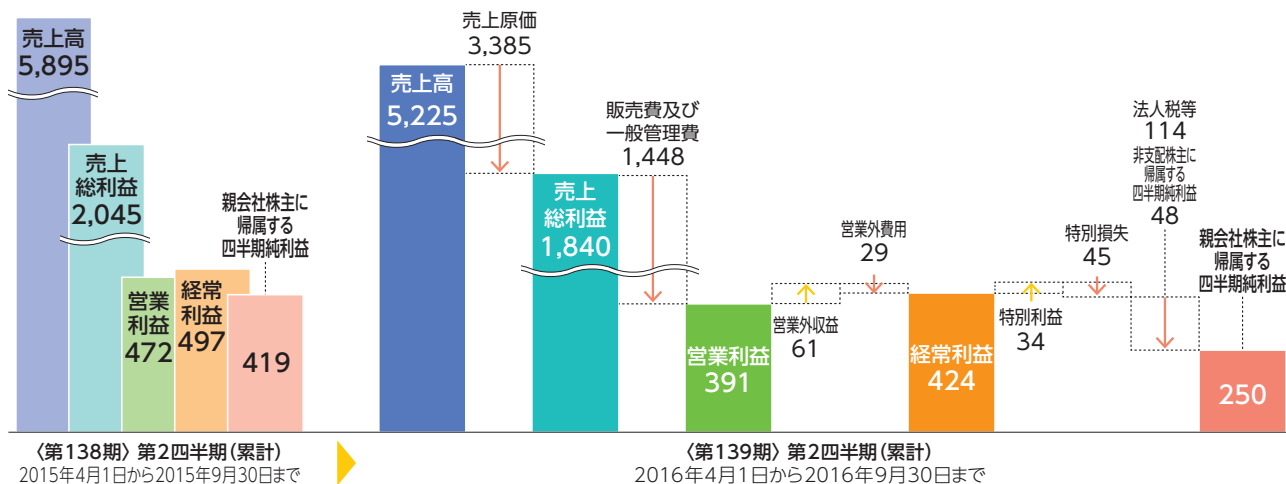
● 投資活動によるキャッシュ・フロー

249億円の支出(前年同期は555億円の支出)となりました。有形固定資産の取得による支出があったこと等によるものです。

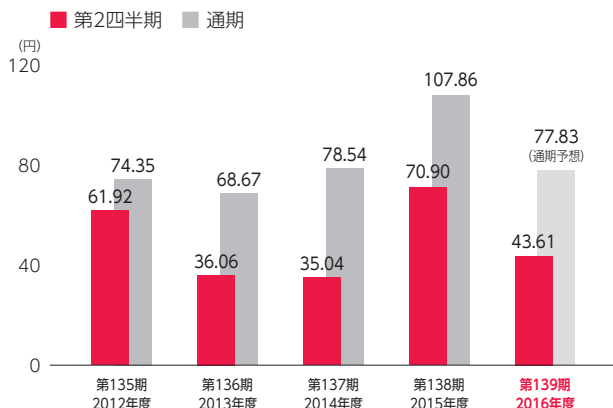
● 財務活動によるキャッシュ・フロー

480億円の支出(前年同期は28億円の収入)となりました。自己株式の取得による支出があったこと等によるものです。

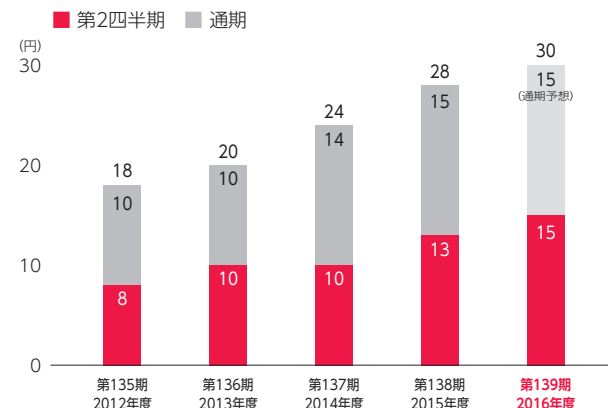
■ 連結損益計算書の概要 (単位：億円)



■ 1株当たり四半期(当期)純利益



■ 配当



*第138期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第138期第2四半期の数値は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

*会計方針の変更に伴う遡及適用影響額を、第138期の数値に反映して表示しております。

*予想数値は、11月8日決算発表時で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、事業環境の変動等により、予想と異なることがあります。

世界の商品紹介

～メニュー用調味料～

今回は、各国・地域の味覚やニーズを把握して、各地で馴染みのある料理を簡単・便利に作れるようにした代表的なメニュー用調味料をご紹介します。

メニュー用調味料とは？

メニュー用調味料とは、日本の「Cook Do[®]」に相当するもので、各国で馴染みのある料理を、ご家庭で簡単・便利に、おいしく作ることができる調味料です。馴染みのある料理の味付けに必要な唐辛子やハーブ等のスパイス、肉・魚・野菜エキス等の原料を最適なバランスで組み合わせることで、おいしく仕上げることができます。各国で様々な品種を揃えています。日本では取り扱っていない、「唐揚げ粉」を多くの国で販売していることが当社海外事業の特徴の一つです。

インドネシア

「Sajiku[®]」

「Sajiku[®]」
唐揚げ



「Sajiku[®]」野菜炒め

インドネシア味の素社の「Sajiku[®]」は、〈Ayam goreng〉(鶏肉の唐揚げ)や〈Nasi goreng〉(炒めご飯)といった料理に使われる調味料です。現地の言葉で「ごちそう」という意味の「sajian」、[私の]という意味の「aku」を合わせて「私のごちそう」という意味が込められています。1999年の「唐揚げ粉」発売以来、〈Soto Ayam〉(鶏肉のスープ)や〈Capcay〉(野菜炒め)、〈Rendang〉(牛肉の煮込み)等計15品種を揃え、インドネシアのご家庭や飲食店といった幅広いシーンでお使いいただいています。インドネシアでは経済成長に伴い中間層が拡大してきており、簡便に調理ができる調味料への需要が高まっています。2017年12月にはジャワ島西部の工場生産能力を増強し、製品供給をさらに拡大していきます。

ベトナム

「Aji-Quick[®]」

「Aji-Quick[®]」
鶏肉用唐揚げ粉



「Aji-Quick[®]」
海鮮用唐揚げ粉

ベトナム味の素社の「Aji-Quick[®]」は、ブランド名のとおり、手早く簡単に調理ができる調味料です。2010年に鶏肉用唐揚げ粉を発売以降、海鮮用唐揚げ粉に加え、タイ鍋やキムチ鍋、テールスープといった鍋料理用にも製品ラインナップを拡大しています。サクサクとしたスパイシーな唐揚げやおいしい鍋のスープを簡単に作ることができ、ベトナムのご家庭で広くお使いいただいています。これまでに築き上げた強い販売網を活かすとともに、TVCMも展開し、売り上げを大きく伸ばしています。

日本 ^{クックドゥ} 「Cook Do®」

1978年に発売した日本のロングセラー商品である「Cook Do®」は、ご家庭に本格的な中華の味をお届けするために、味の決め手となるオイスターソースや豆板醤等の中華醤を素材からこだわり、オリジナルで開発して使用しています。中華料理以外にも、韓国料理や日本人に馴染みのある料理等を簡単・便利に作る事ができ、多くの方々に愛用されています。



「Cook Do®」
赤麻婆豆腐



「Cook Do®」
回鍋肉



「RosDee menu™」
豚肉煮込み

タイ

「RosDee menu™」

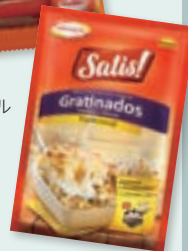
タイ味の素社の「RosDee menu™」は2011年に販売を開始した調味料です。5種のスパイス入り豚肉煮込みやトムヤムスープ、鶏肉バジル炒め等、タイで人気の料理を計18品種揃えています。短時間で本格的なタイ料理が作れる便利な調味料として、働く若い女性を中心に高い人気を得ています。また、2003年より他社に先駆けて発売していた唐揚げ粉も、2012年からは、「RosDee menu™」のシリーズの一つとして、3品種揃えています。店頭での試食やTVCMと連動した販売促進活動等により、売り上げを大きく伸ばしています。

ブラジル ^{サティス} 「Satis!®」

ブラジル味の素社の「Satis!®」は、2014年に販売を開始した調味料です。現地言葉で「満足」を意味する「satisfação」が名前の由来です。肉料理が広く親しまれているブラジルで「Milanesa」(パン粉揚げ物)や「Almôndegas」(ミートボール)といったブラジルで人気の料理を、オーブンや電子レンジを使い、より手軽に、おいしく作ることができます。2015年には肉料理以外に「Gratinados」(グラタン)を発売し、現在は計12品種にまで増えました。売り場での各種キャンペーンに加え、FacebookやYouTube等のデジタルメディアを活用したプロモーションを行い、多くの方々にお使いいただいています。



「Satis!®」
ミートボール



「Satis!®」
グラタン

フィリピン

「Crispy Fry®」

クリスピーフライ

「Tasty Boy®」 「Aji-SINIGANG®」

テイスターボーイ

「Crispy Fry®」はフィリピン味の素社が2004年に発売した調味料です。漬け込むことなく、鶏肉にかけて揚げるだけで、サクサクとした食感のフライドチキンが簡単に作れます。「Tasty Boy®」は2007年に発売し、鶏肉だけでなく、豚肉や海鮮、野菜にもお使いいただける揚げ物用調味料です。今年是新製品として「Aji-SINIGANG®」(Cube)を発売しました。フィリピンでよく食されるタマリンドソースをご家庭で手軽に作る事ができるキューブ型調味料です。各製品ともTVCMを積極的に展開し、売り上げを拡大しています。



「Crispy Fry®」
フライドチキン



「Tasty Boy®」
フライドチキンガーリック



「Aji-SINIGANG®」
キューブ

会社の概要 (2016年9月30日現在)

商 号 味の素株式会社
本 社 〒104-8315
東京都中央区京橋一丁目15番1号
創 業 年 月 日 1909年 (明治42年) 5月20日
設 立 年 月 日 1925年 (大正14年) 12月17日
資 本 金 79,863,797,685円

株主メモ

配当支払株主確定日 3月31日 (期末配当)
9月30日 (中間配当)
証 券 コ ー ド 番 号 2802
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)

株主優待制度拡充のお知らせ

当社は2017年3月31日現在の株主名簿に記録された株主様への贈呈分から株主優待制度を拡充し、100株以上1,000株未満保有の株主様にも株主優待をお届けいたします。

NEW

100株以上1,000株未満
保有の株主様^{*1}

味の素グループ商品の
詰め合わせセット (市価1,000円相当)



1,000株以上保有の株主様^{*1}

1,000株以上の保有期間が継続3年未満

味の素グループ商品の
詰め合わせセット (市価3,000円相当)



1,000株以上の保有期間が継続3年以上^{*2}

味の素グループ商品 (市価6,000円相当)
複数の選択肢の中から1個を選択



*1) 毎年3月31日現在の株主名簿に記録された株主様が対象となります。

*2) 株主名簿基準日 (9月30日および3月31日) の株主名簿に1,000株以上の保有記録が同一株主番号で7回以上連続している場合をいいます。

*3) 株主優待の写真はイメージです。

● **発送時期** : 2017年度は、2017年8月上旬を予定しています。

● **お問い合わせ先** : 味の素株式会社 株主優待事務局 ☎ 0120-271-456 (フリーダイヤル)

※詳細は当社ホームページをご覧ください。

味の素株式会社

〒104-8315 東京都中央区京橋1-15-1
<http://www.ajinomoto.com/jp/>

この冊子に関するお問い合わせ先 法務部 03-5250-8245 (通話料有料)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。

